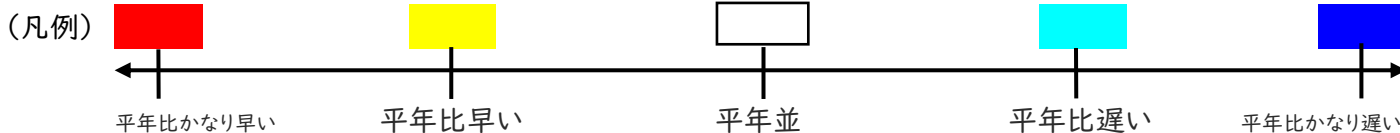


梅雨のメカニズム

【各地域の梅雨入りと梅雨明け一覧表】



エリア	梅雨入り			梅雨明け		
	2025年(速報値)	2024年(確定値)	平年	2024年(確定値)	平年	
沖縄	5月22日頃	5月21日頃	5月10日頃	6月20日頃	6月21日頃	
奄美	5月19日頃	5月21日頃	5月12日頃	6月22日頃	6月29日頃	
九州南部	5月16日頃	6月8日頃	5月30日頃	7月16日頃	7月15日頃	
九州北部	6月8日頃	6月17日頃	6月4日頃	7月17日頃	7月19日頃	
四国	6月8日頃	6月17日頃	6月5日頃	7月17日頃	7月17日頃	
中国	6月9日頃	6月20日頃	6月6日頃	7月21日頃	7月19日頃	
近畿	6月9日頃	6月17日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月19日頃	
東海	6月9日頃	6月21日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月19日頃	
関東甲信	6月10日頃	6月21日頃	6月7日頃	7月18日頃	7月19日頃	
北陸	6月10日頃	6月22日頃	6月11日頃	7月31日頃	7月23日頃	
東北南部		6月22日頃	6月12日頃	8月1日頃	7月24日頃	
東北北部		6月23日頃	6月15日頃	8月2日頃	7月28日頃	

今年の梅雨は例年と異なった形でスタートしました。本来であれば、沖縄、奄美、九州、四国、本州という順に梅雨入りしていきますが、今年は沖縄、奄美よりも早くに九州南部が先に梅雨入りするという異例なことが発生しました。その後は、沖縄、奄美、九州北部、四国、中国、近畿、東海、関東甲信、北陸と次々に梅雨入りしました(6月10日時点。詳しくは上表参照)。ちなみに沖縄は6月8日頃、すでに梅雨明けしています。

さて、梅雨入りとよく言われますが、どのような基準で誰が発表しているか、気になりますか？今回は梅雨に関連することを取り上げていきます。梅雨入りの基準は、気象庁によると、「明確な基準はないが、数日から一週間程度の天候予想に基づき、地方予報中樞官署が気象情報として発表する」とのことです。また、梅雨入り、梅雨明けの発表はあくまで予報を用いた速報であるため、平年値等の統計に用いられる確定値は、実際の天候経過を考慮して秋になってから更新されることがあります。ちなみに梅雨前線とは、日本の北にあるオホーツク海気団と南にある小笠原気団が押し合うことでできる前線です。(右図参照)なお、北海道は梅雨がありません。理由は、梅雨前線の影響が明瞭にならないため、気象庁では発表対象に含めていないからです。



今年も梅雨の季節がやってきました。6月9日、10日には九州各地で大雨警報が発令され、鹿児島県では、顕著な大雨に関する情報が発表されるなど、まるで梅雨末期のような大雨となっています。雨が降り終わった後でも、地中には大量の水分が含まれていることがあり、場合によっては土砂災害が発生することもあるので、大雨の後の災害にも注意・警戒が必要です。